

2022年3月期

# ソフト99コーポレーション

決算説明会

2022年6月1日

- 本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本資料に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、資料の作成時点で入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

- I : 企業グループの概要……………P.3
- II : 連結及びセグメント業績概要 ……P.6
- III : 事業の概況 ……………P.11
- IV : 中期経営計画に基づいた当社の取り組み… P.20
- V : 通期業績予想と配当予想……………P.27

# I : 企業グループの概要

## 株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立 … 1954年10月28日

主要事業 … 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売  
機能性精密多孔質体製品の製造販売

従業員数 … 820名(2022年3月31日現在・連結)

関係会社 … 11社(当社含む2022年3月31日現在の連結対象企業)

※2022年4月1日を持って介護予防支援事業を運営するアライズ株式会社はアスモ株式会社と合併いたしました。

### 当社主要製品の歴史

1969年  
「ハンネリ」



1978年  
「ボデーペン」



1987年  
「タイネット」



1993年  
「ぬりぬりガラコ」



1999年  
「プラスセーヌ」



1999年  
「フクピカwet」



2003年  
「G'zoxシリーズ」



2006年  
「メガネのシャンプー」



※ プラスセーヌ(旧 プラスセーム)は鐘紡株式会社より1963年に発売、事業譲渡にて1999年より当社グループによる製造販売を開始。

# 事業セグメント概要



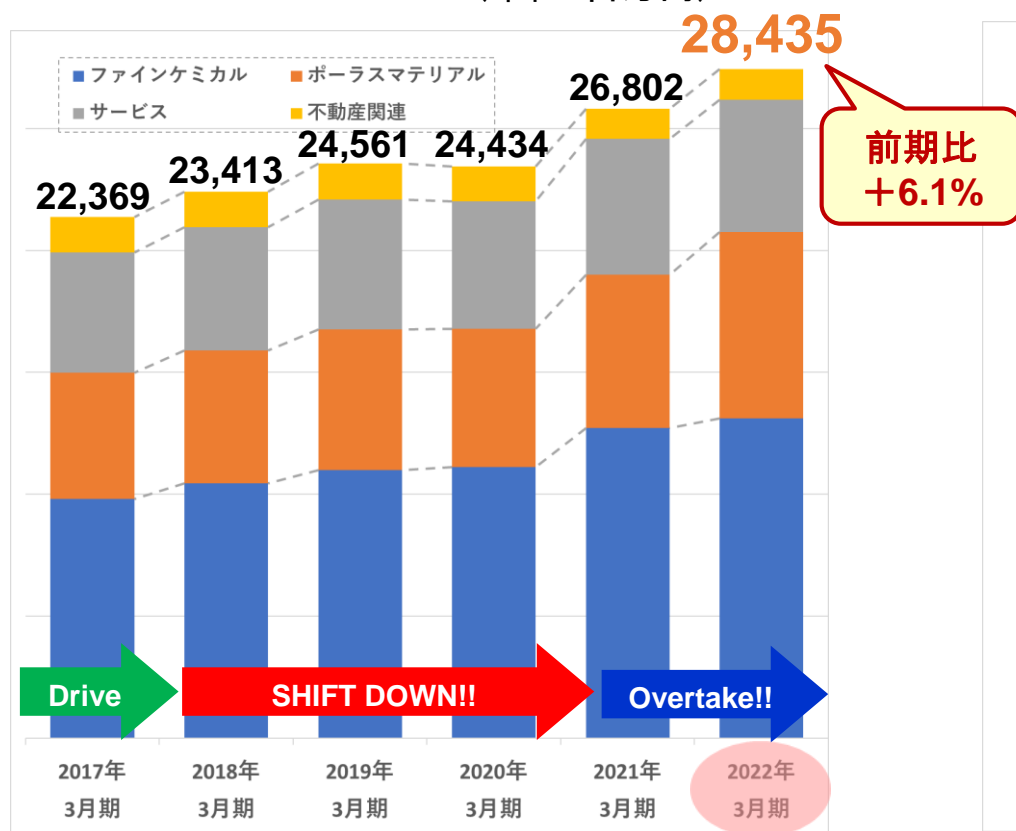
事業セグメント	サブセグメント	
<b>① ファインケミカル</b> 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売	一般消費者用製品(自動車向け)	祖業 横展開による 事業領域拡大
	業務用製品(自動車向け、その他産業向け)	
	家庭用品等製品	
	海外事業	
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売	
	電子機器・ソフトウェア開発	
<b>② ポーラスマテリアル</b> 機能性精密多孔質体製品の製造販売	産業資材 (ハイテク産業向け精密洗浄・研磨・濾過用途製品) (医療・衛生用途製品)	M&Aによる 事業領域拡大
	生活資材 (自動車、キッチン、化粧、スポーツ等用品)	
<b>③ サービス</b>	自動車整備・钣金	保有資産の 収益化
	自動車教習	
	生活用品等企画販売	
<b>④ 不動産関連</b>	不動産賃貸	
	温浴施設運営・介護予防支援	

## Ⅱ：連結及びセグメント業績概要

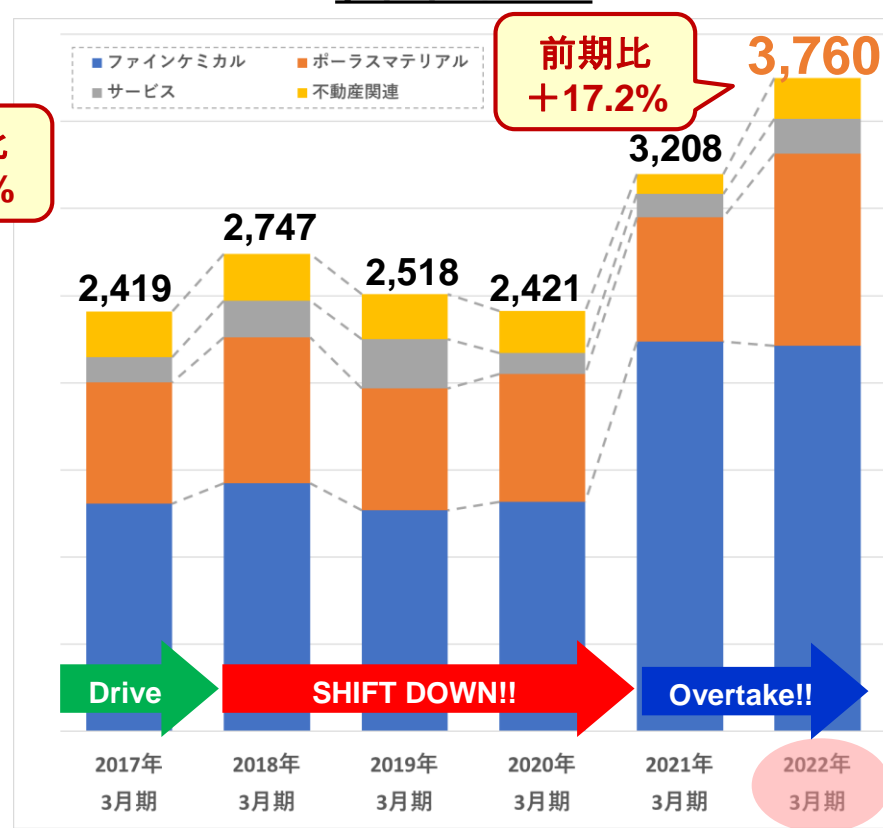
# 連結損益の概要

## 2022年3月期連結損益推移

### 売上高 (単位:百万円)



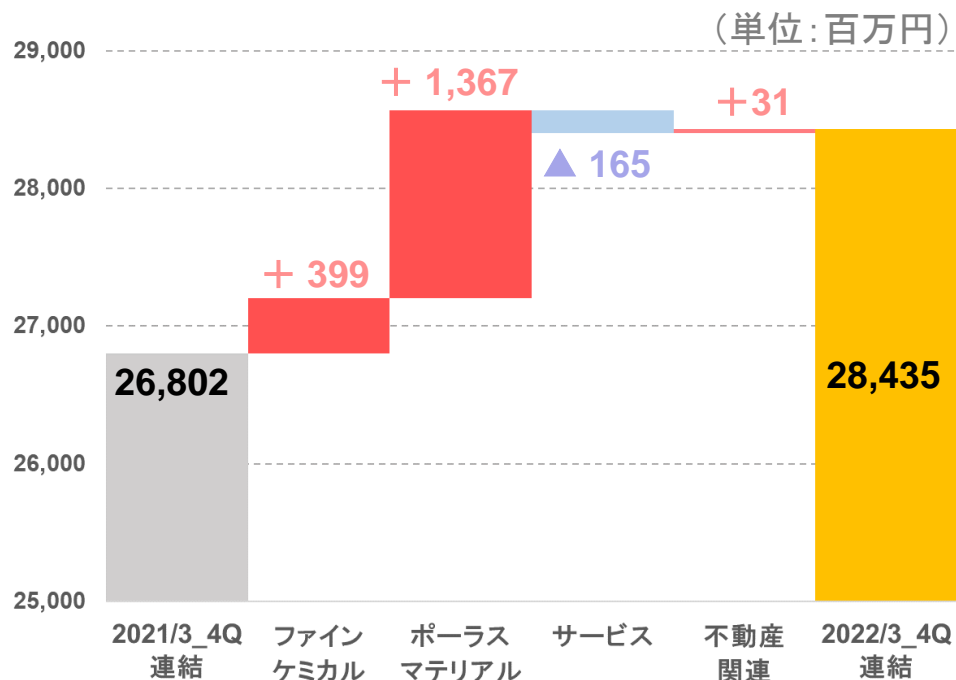
### 営業利益 (単位:百万円)



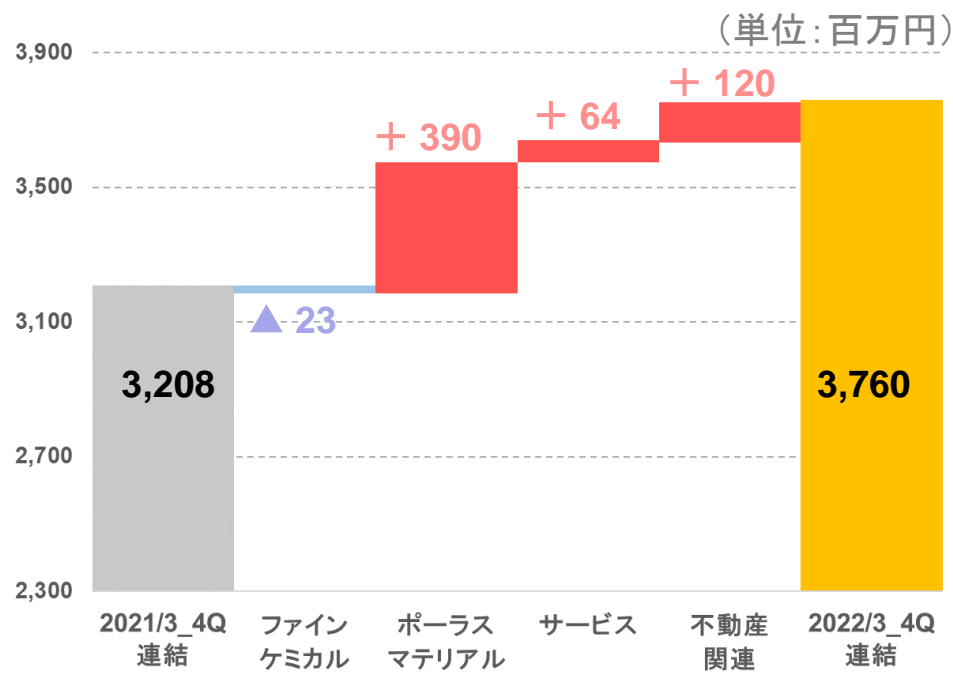
# セグメント別 損益増減(前期比)

- ファインケミカル ……一般消費者向け製品や海外向けの販売伸長で増収となるも、コロナ禍の一段落に伴って営業費用が例年並みに戻り、減益となる。
- ポーラスマテリアル ……半導体向け出荷の好調継続と併せて、アズテックの業績が期首から寄与したことにより、増収増益となる。

## セグメント別売上高・前期比増減



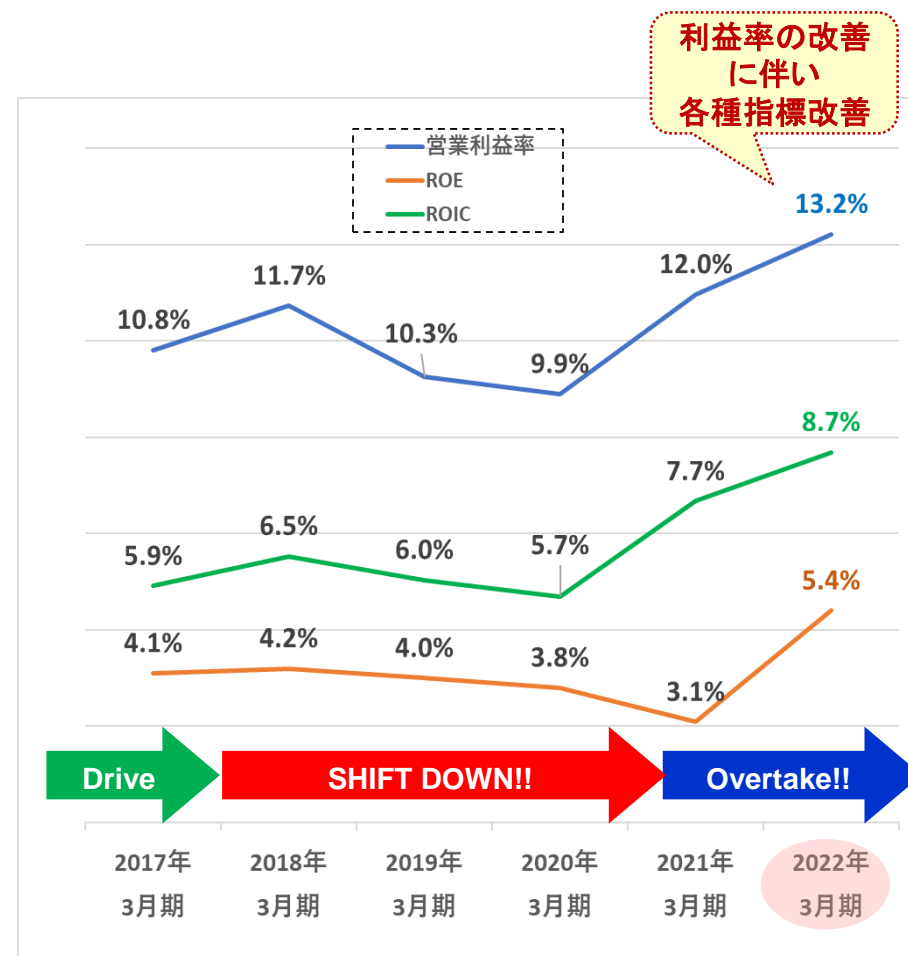
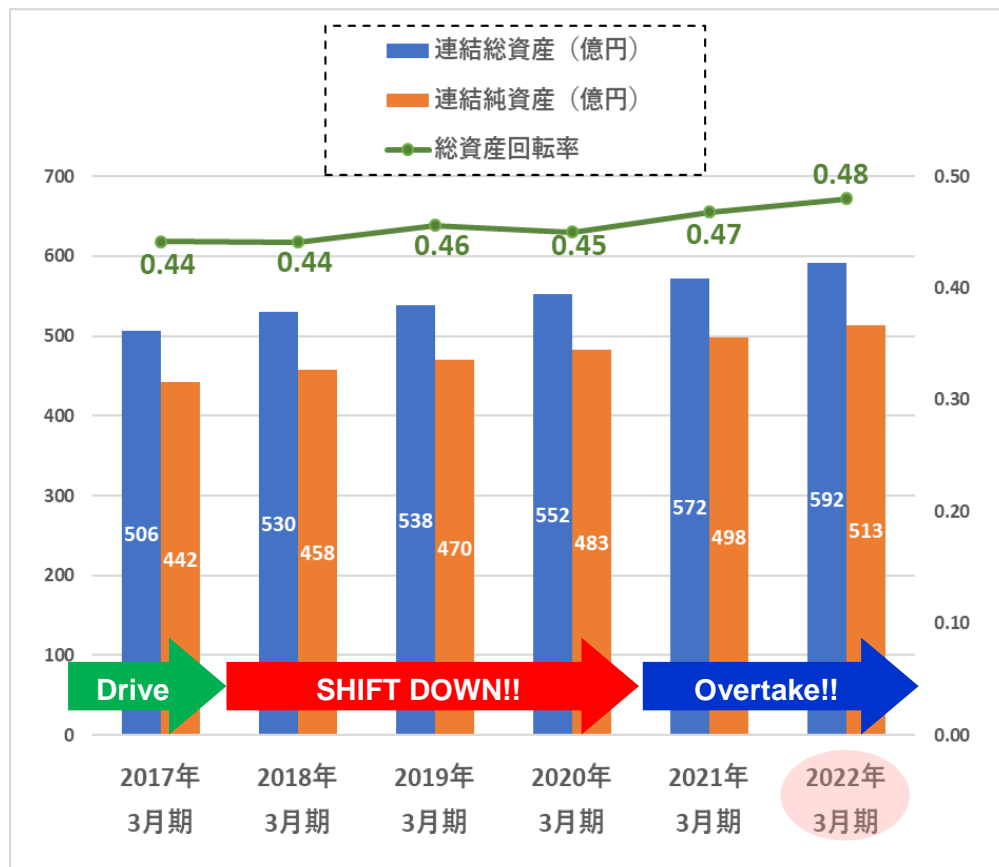
## セグメント別利益・前期比増減



(注)連結調整額除く



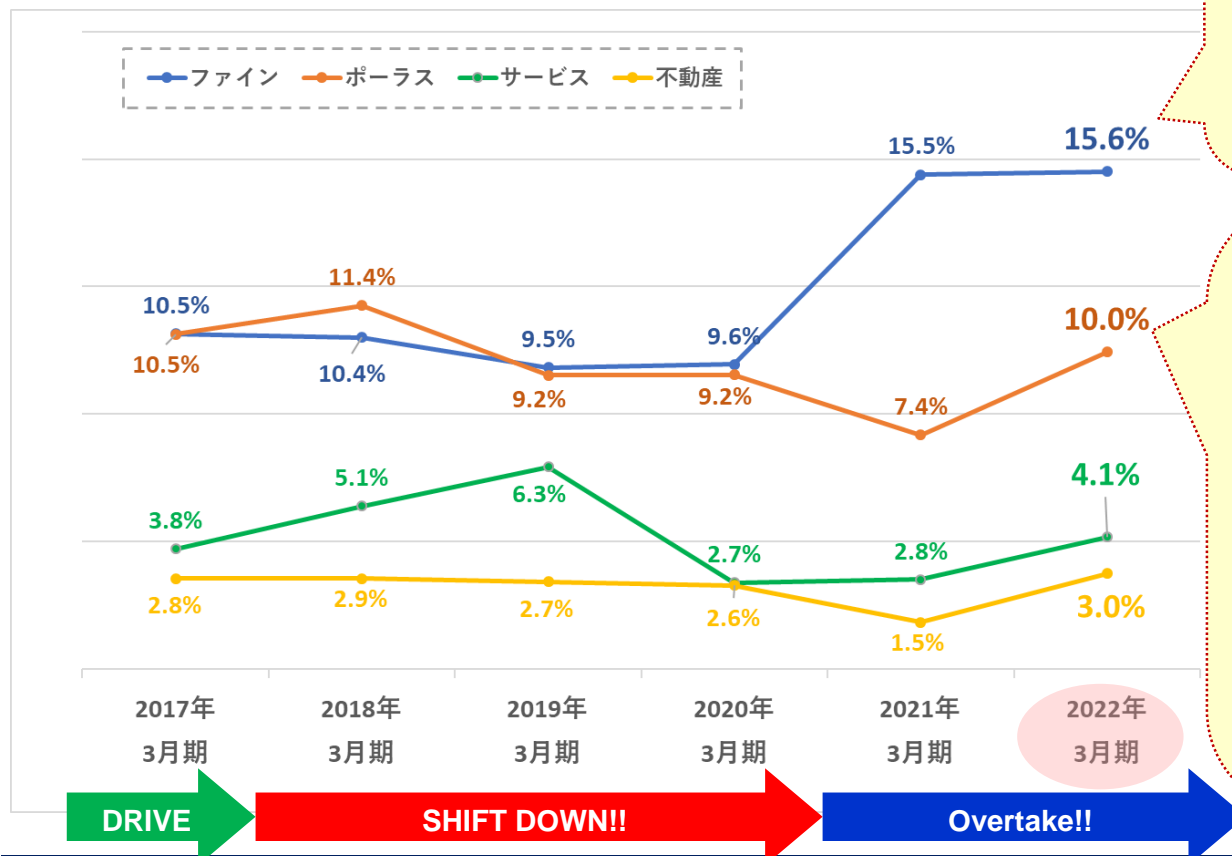
# 主要経営指標(連結)



# 主要経営指標(セグメント別ROIC)

■ ファイン・ポーラスの改善が全体のROIC改善に寄与する。

## セグメント別ROIC



### ◆ファインケミカル

- ✓ 利益率の高い一般用製品・業務用製品の販売が伸びた事により、ROICも改善。

### ◆ポーラスマテリアル

- ✓ 2021年3月期中にアズテック社を買収したことで資産が増加し、一時的にROICが悪化
- ✓ 2022年3月期は半導体向け出荷が好調に推移したことやアズテックの業績が通年で寄与したことでROICが改善。

# Ⅲ：事業の概況

## （2022年3月期）

# ファインケミカル(1/4) 一般消費者用製品販売



- 巣ごもり消費需要の収束に伴ってリペアグッズは落ち込んだものの、ボディケア・ガラスケア製品の伸長によって全体で増収。



神トレ  
シリーズ



レイン  
ドロップ



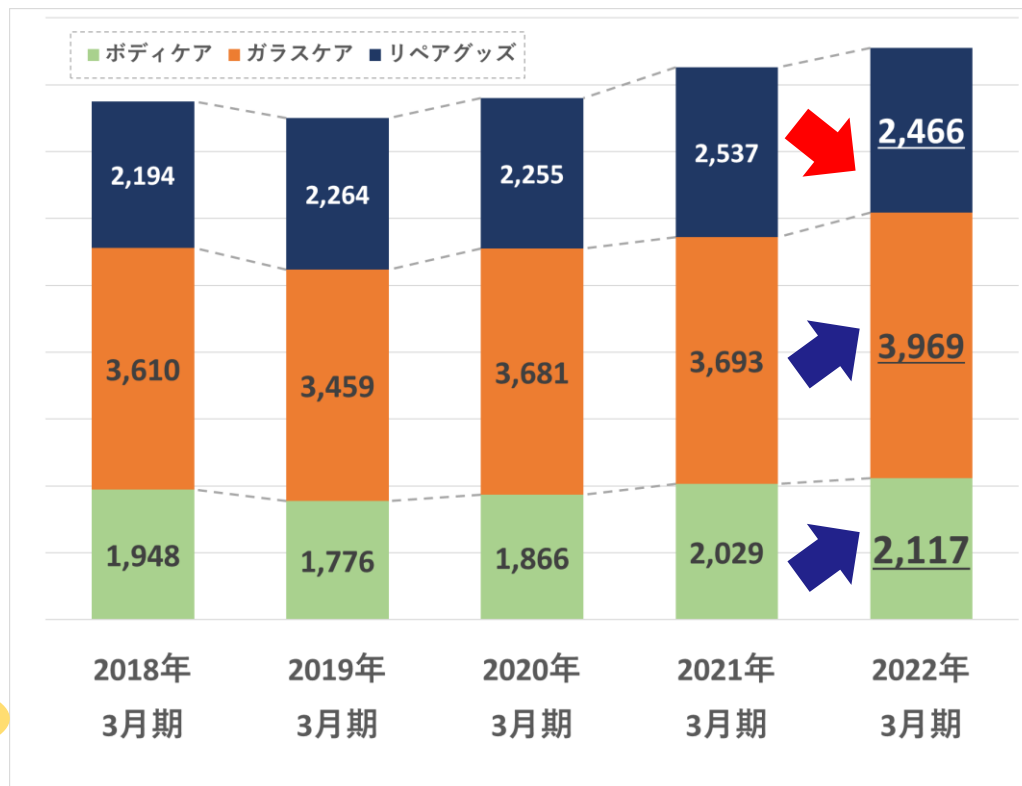
フクピカ  
GEN5



ぬりぬり  
ガラコギガ丸

## 一般消費者用製品 通期売上

(単位: 百万円)



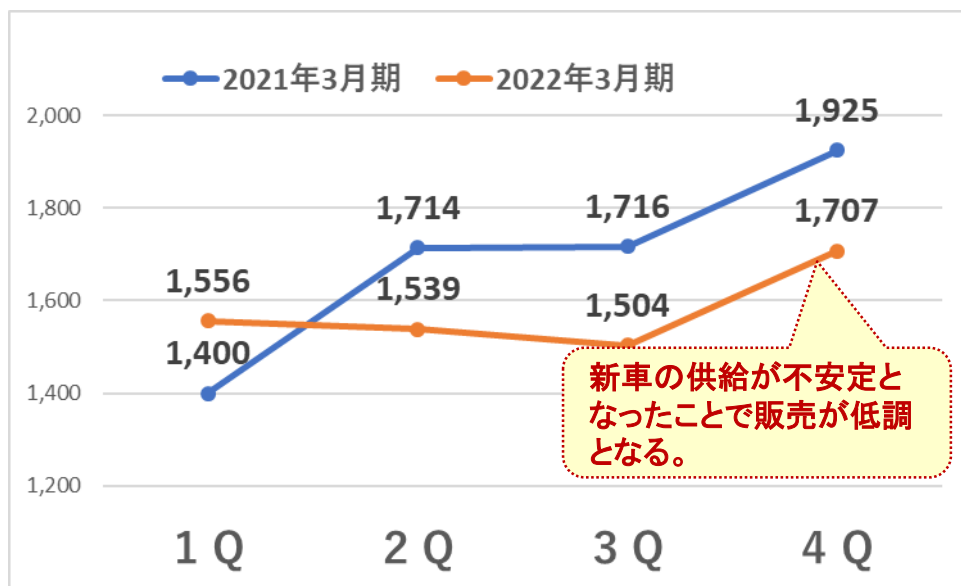
# ファインケミカル(2/4) 業務用製品



- 自動車の販売台数が停滞する中、得意先と共にコーティング施工率の向上と単価アップに取り組むことで販売は伸長。

## 自動車販売台数の推移

(新車販売台数・中古普通自動車販売台数)  
(単位:千台)



(一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 発表資料を当社加工)  
※ 軽自動車販売実績は除く。

## 業務用製品 通期売上



(単位:百万円)



# ファインケミカル(3/4) 家庭用品等製品

- コロナ需要が落ち着いた後も、メガネケア関連製品の取扱店舗の拡大と継続的な販促活動の実施により、売上を高水準で維持。



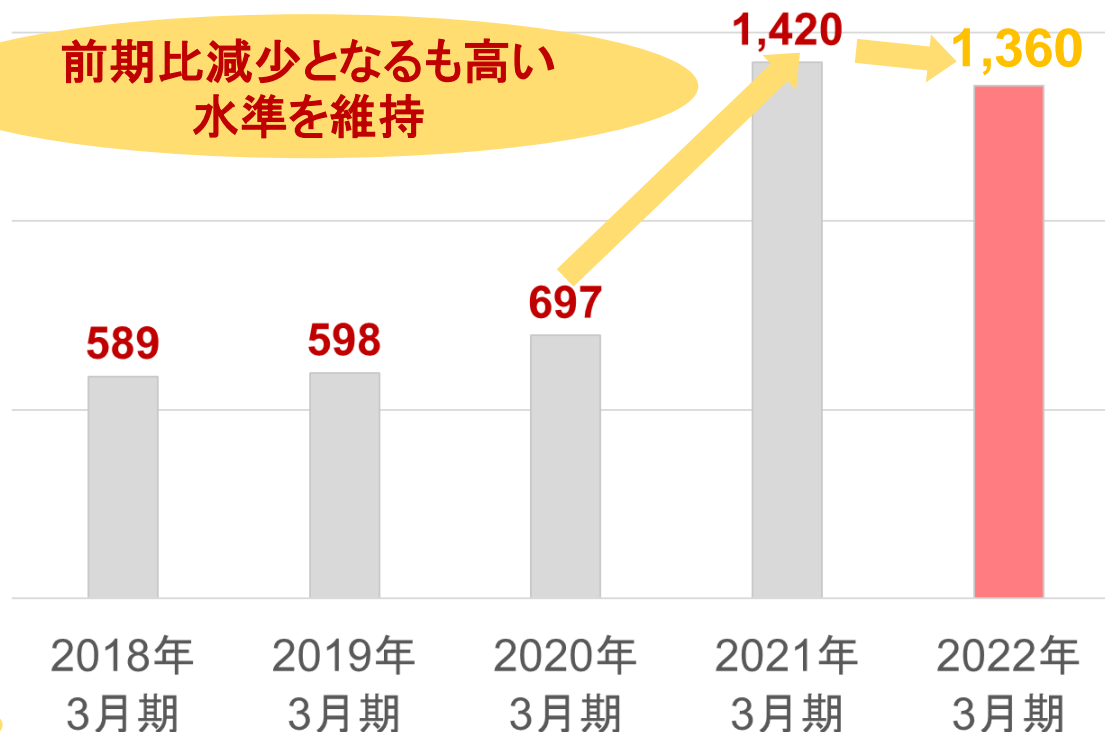
テレビCM放映



## 家庭用品等製品 通期売上

(単位: 百万円)

前期比減少となるも高い水準を維持



店頭での露出が拡大

# ファインケミカル(4/4) 海外販売

- 中国における企業業績悪化に伴う販売の苦戦や欧州における輸送手段の確保ができなかったことによる出荷の後ろ倒しを韓国や台湾など他のエリアでカバー。

## 海外販売 通期売上

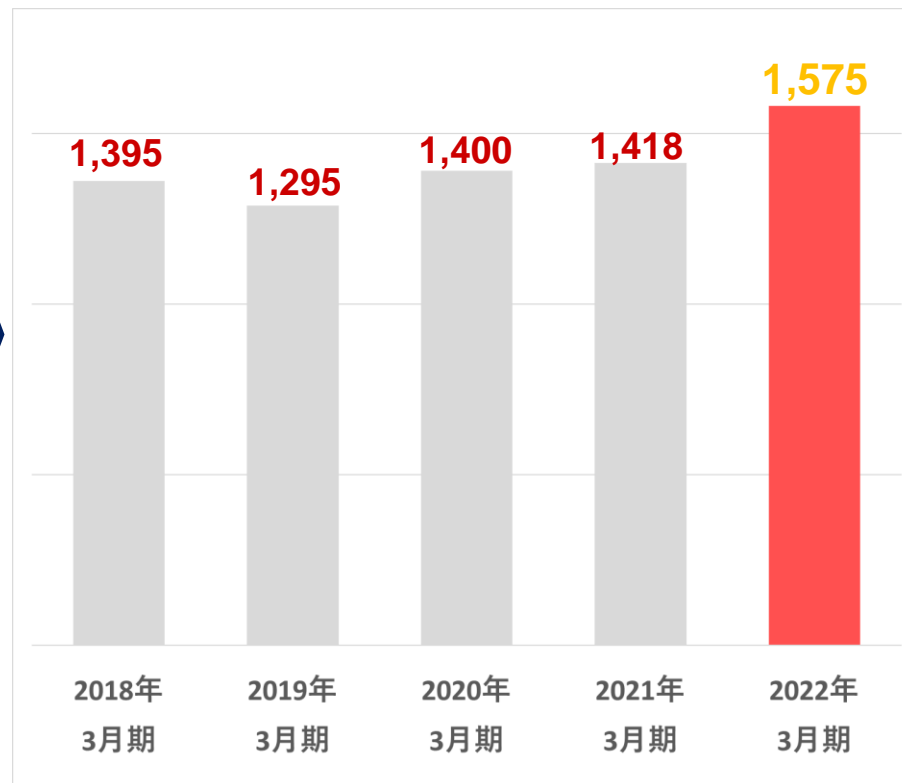
(単位:百万円)



パッケージの現地語化推進



世界的なコンテナ船の不足

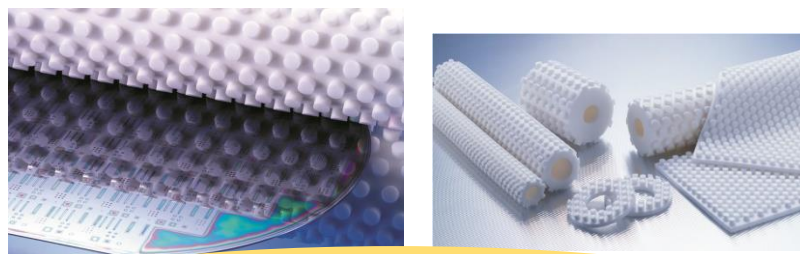


# ポーラスマテリアル(1/2) 産業資材

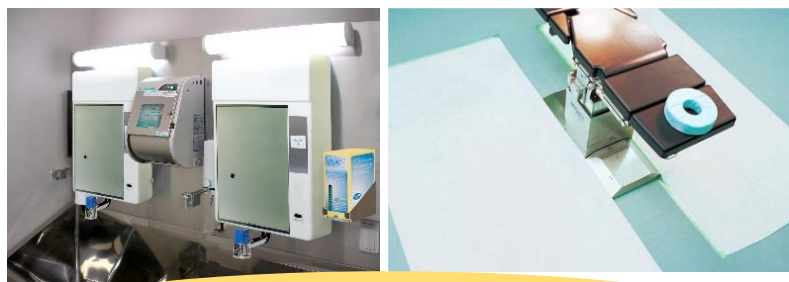
- 半導体関連市場の活況が継続、二次電池向け研磨用途も好調に推移。
- 病院施設向け医療・衛生用品販売の増加が通年で寄与。

## 産業資材 通期売上

(単位:百万円)

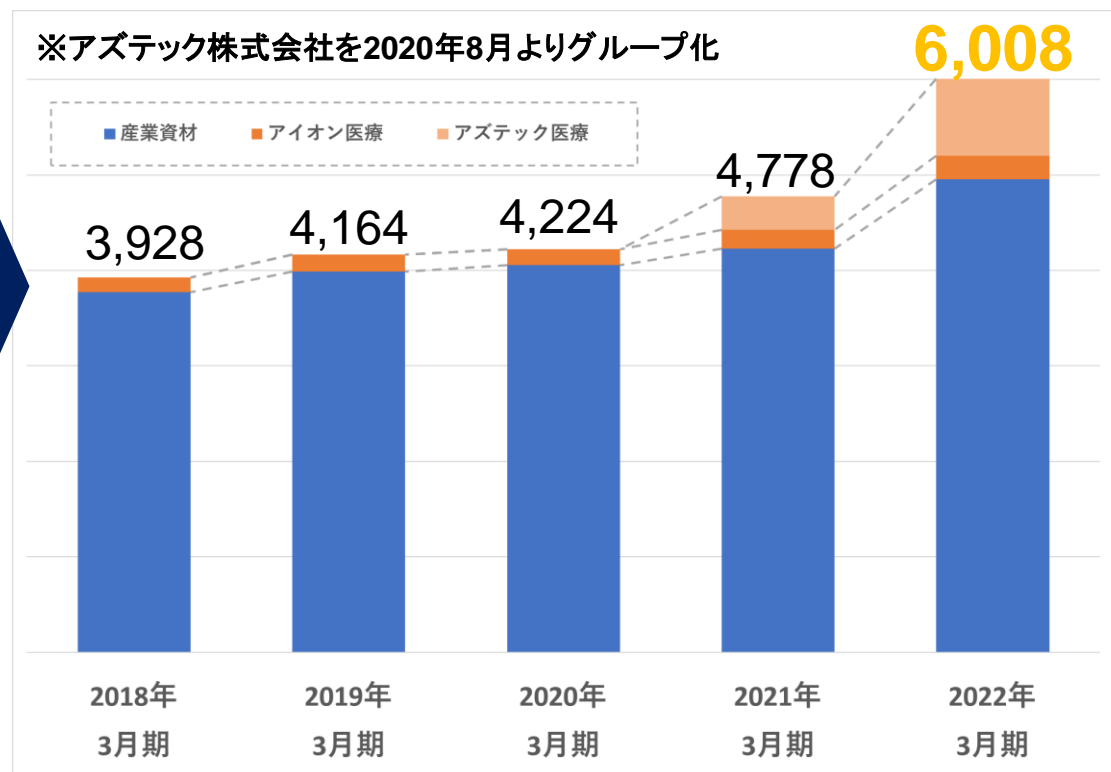


半導体の需要が堅調に推移したことで出荷が伸長する。



アズテックの販売が通年で寄与

※アズテック株式会社を2020年8月よりグループ化





# ポーラスマテリアル(2/2) 生活資材

- 国内向け販売は、巣ごもり消費の収束やスポーツ向け製品が出荷減となったものの、海外向けは、仕向け地の販売回復による出荷増となり国内の落ち込みをカバーする。

## 生活資材 通期売上

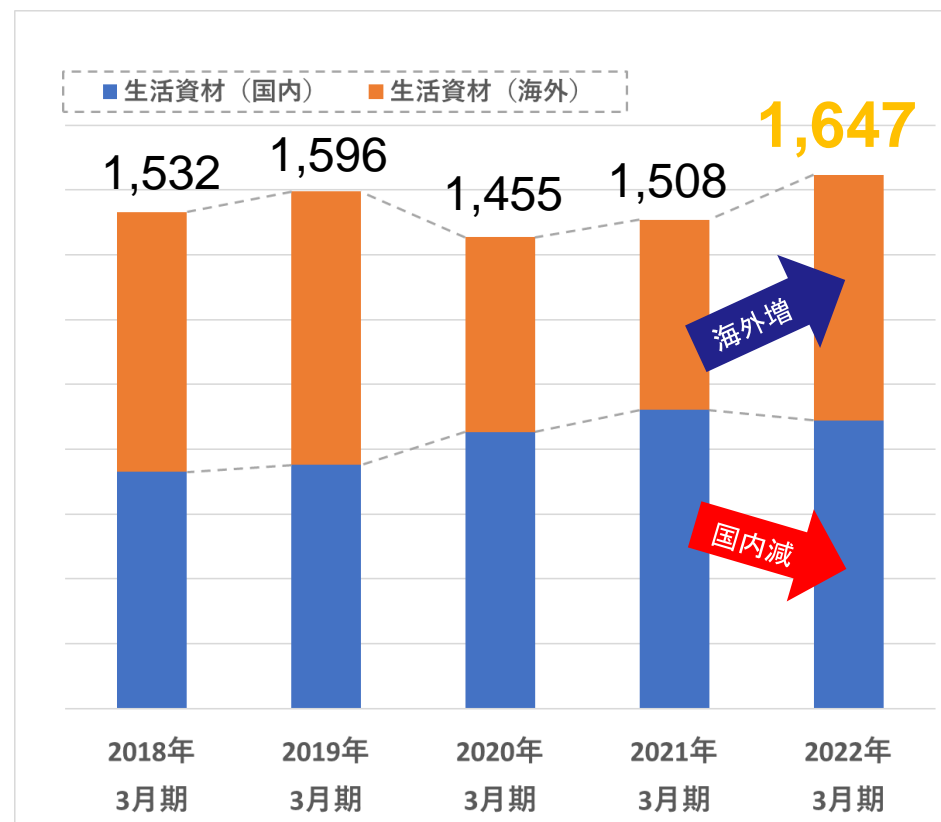
(単位:百万円)



海外向けは主力仕向け地の回復により出荷が拡大



国内向けはスポーツ大会中止の影響によるスポーツ向け製品の出荷減

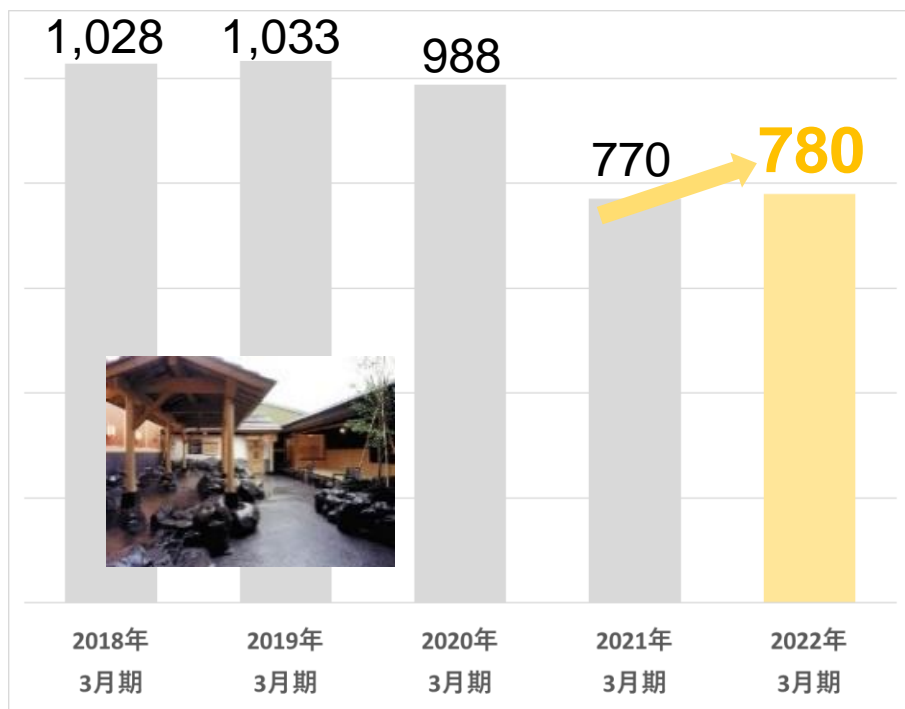


# サービス・不動産関連 (1/2) 温浴・教習事業

- 温浴は断続的に自粛要請があったものの、来店客数は回復傾向。
- 教習事業は自粛要請なく普通免許、職業免許の教習稼働が高水準となる。

## 温浴事業 通期売上

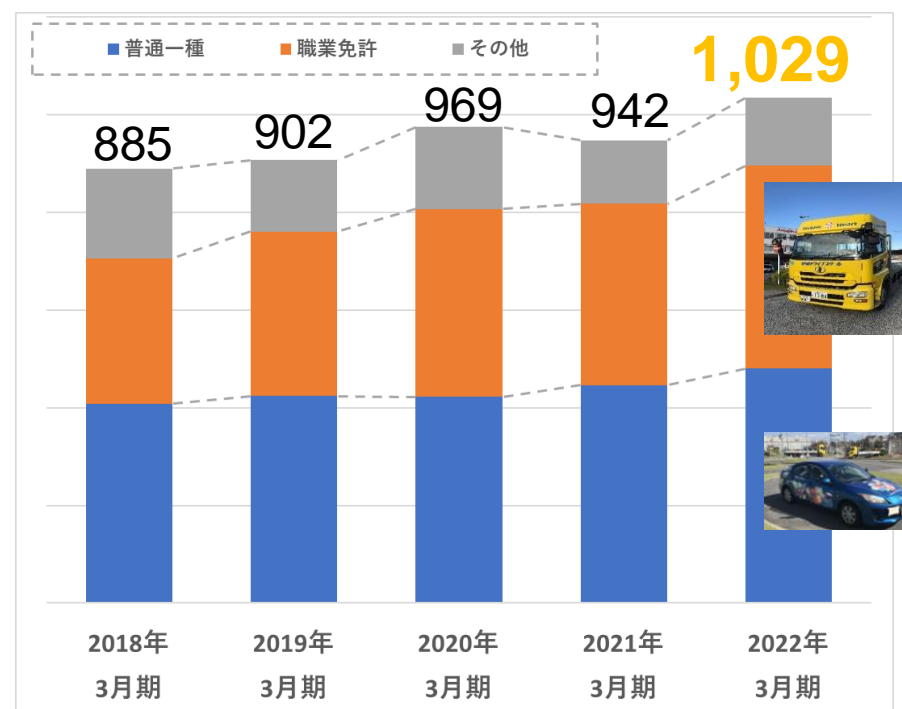
(単位:百万円)



✓ 飲食の苦戦続くも、来店客数は回復傾向

## 教習事業 通期売上

(単位:百万円)



✓ 学生の入所希望者が例年より引き続き多い

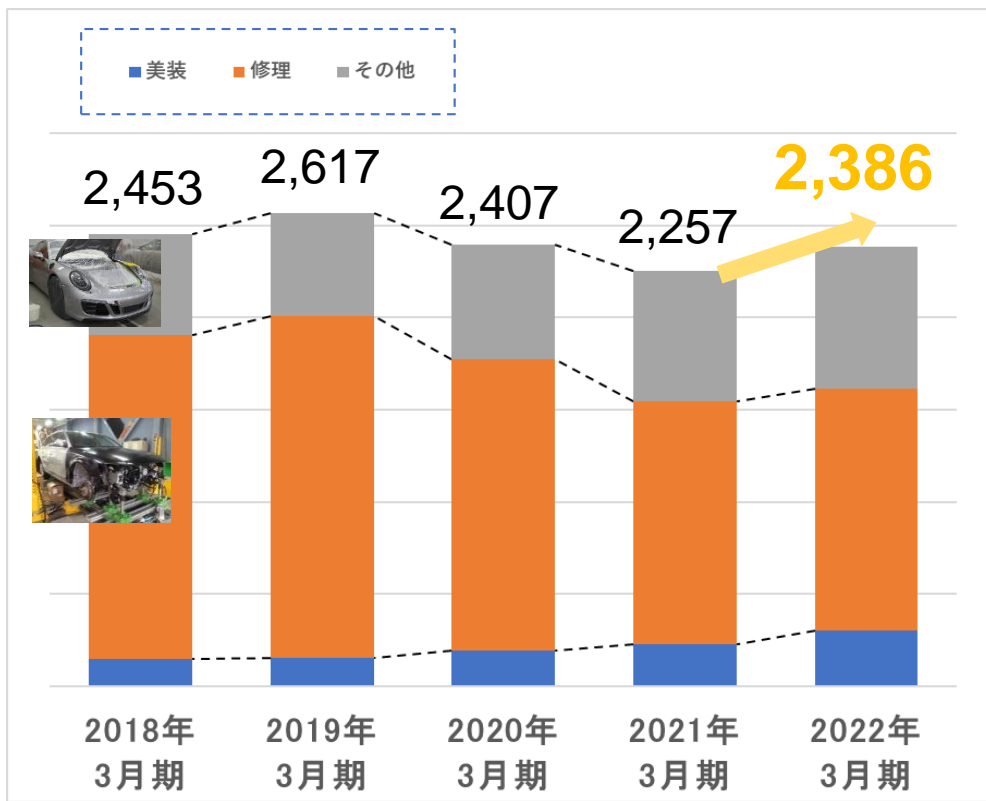
# サービス・不動産関連(2/2) 钣金・生活用品企画販売事業



- 自動車整備钣金事業はフィルムやコーティングなどの美装が好調。
- 前期好調の生活用品企画販売事業は通販需要収束により今期苦戦。

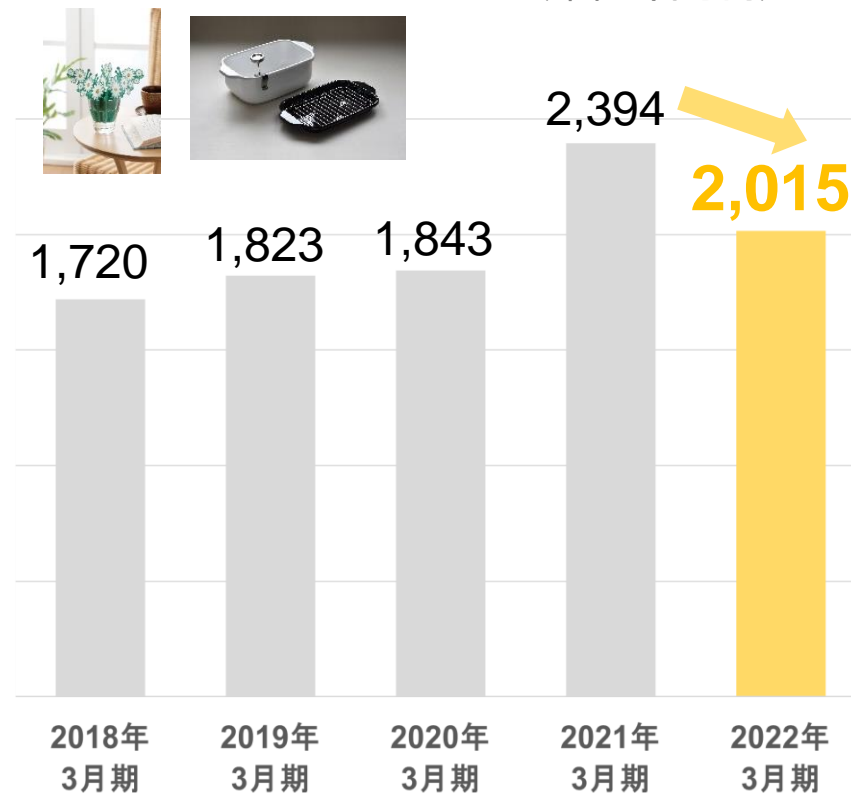
## 自動車钣金整備事業 通期売上

(単位:百万円)



## 生活用品企画販売事業 通期売上

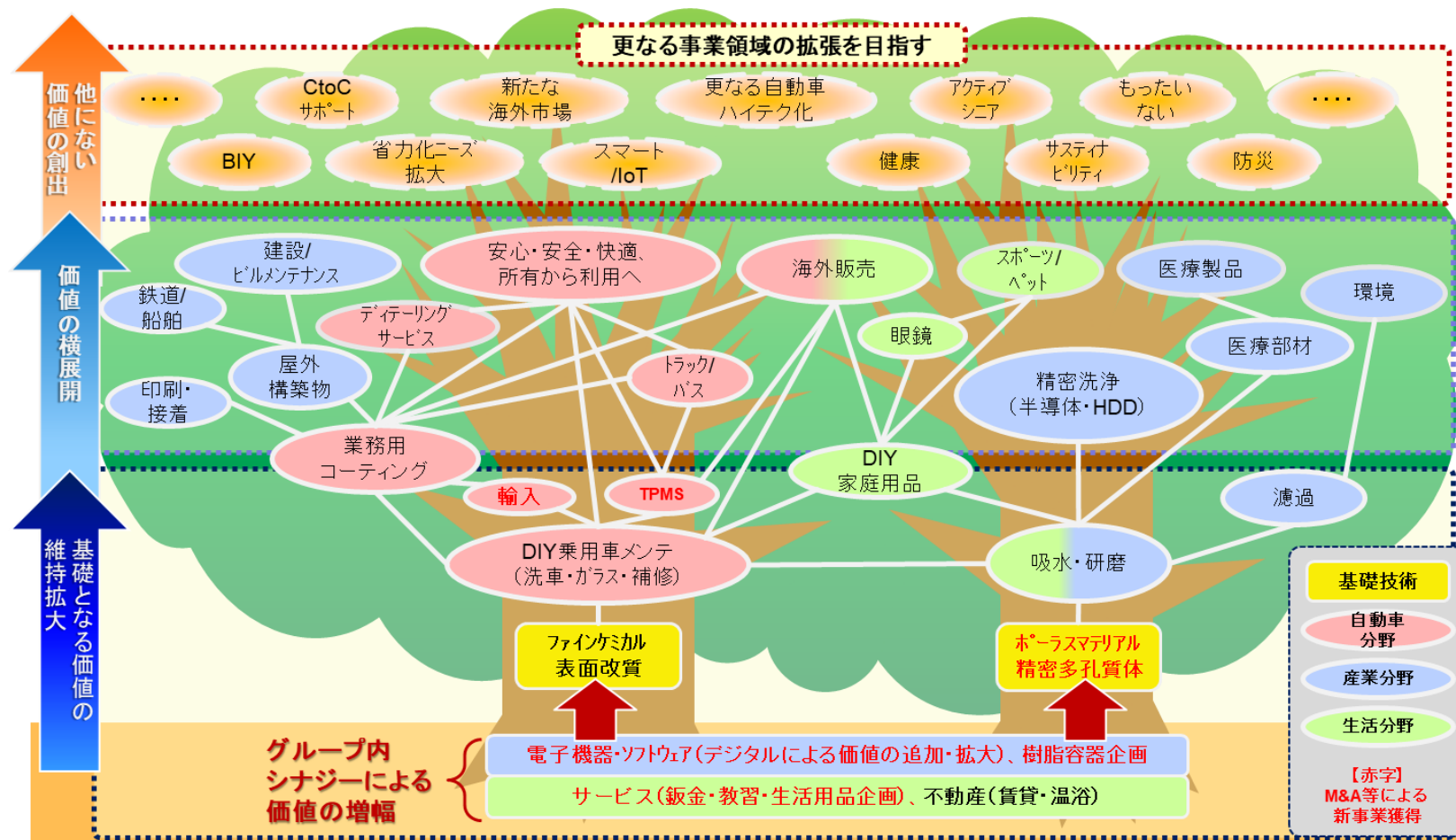
(単位:百万円)



## IV : 中期経営計画に基づいた当社の取り組み

# 第6次中期経営計画の概要 (2020年5月開示資料より引用)

- “他にない”新しい価値の創出に向け、当社グループ **既存技術ノウハウの横展開の更なる推進**と、**新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張**を目指す。



# 今後の取組み: 製品+サービスによる新たな価値提供



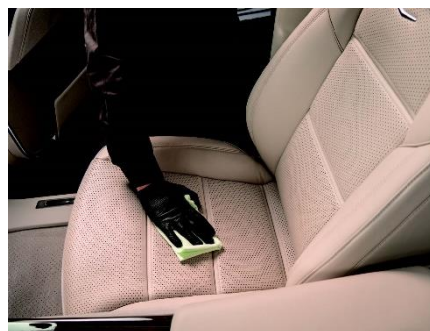
- 抗菌・抗ウイルスコーティングなどの車内美装製品・サービスの強化
- クロスセルによるコーティングメニューの提案強化

## 業務用車内美装製品の強化



**SOFT99 corporation**

## 車内美装サービスの開発・事業化



## 自動車美装ノウハウ



**SOFT99 autoservice**

## カー用品店などへのコーティングメニュー提案



# 今後の取組み:DXの推進(1/2)

- 得意先顧客管理のデジタル化をサポートするとともにアプリを活用することでユーザーの利便性向上を目指す。

## 得意先顧客管理のデジタル化



## アプリを活用した情報管理



# 今後の取組み:DXの推進(2/2)

- グループ内シナジーにより、法人向け安全運転管理システムの開発と事業化を目指す。





# 今後の取組み: 医療分野更なる強化

## ■ アイオンとアズテックによる医療分野向け新製品の開発・販売推進

アイオン(株)  
産業資材開発

**AION**

一般医療機器(クラス I)製品の製造販売業許可を取得



工場新設による生産体制強化



病院施設向け販路活用



医療分野向け新製品の開発と販売推進



# 今後の取組み: サステナビリティへの取組み



## ■ 過去から取り組んできたサステナビリティの『整理』・『再定義』

### 省資源化による炭素源削減



### 化学物質の適切な使用



有害物質削減(キシレン・エチルベンゼンフリー)に向けた製品開発への取組み

マイクロプラスチックフリー(オートゾル製品)



ソフト99グループ行動憲章

コーポレートガバナンスポリシー



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

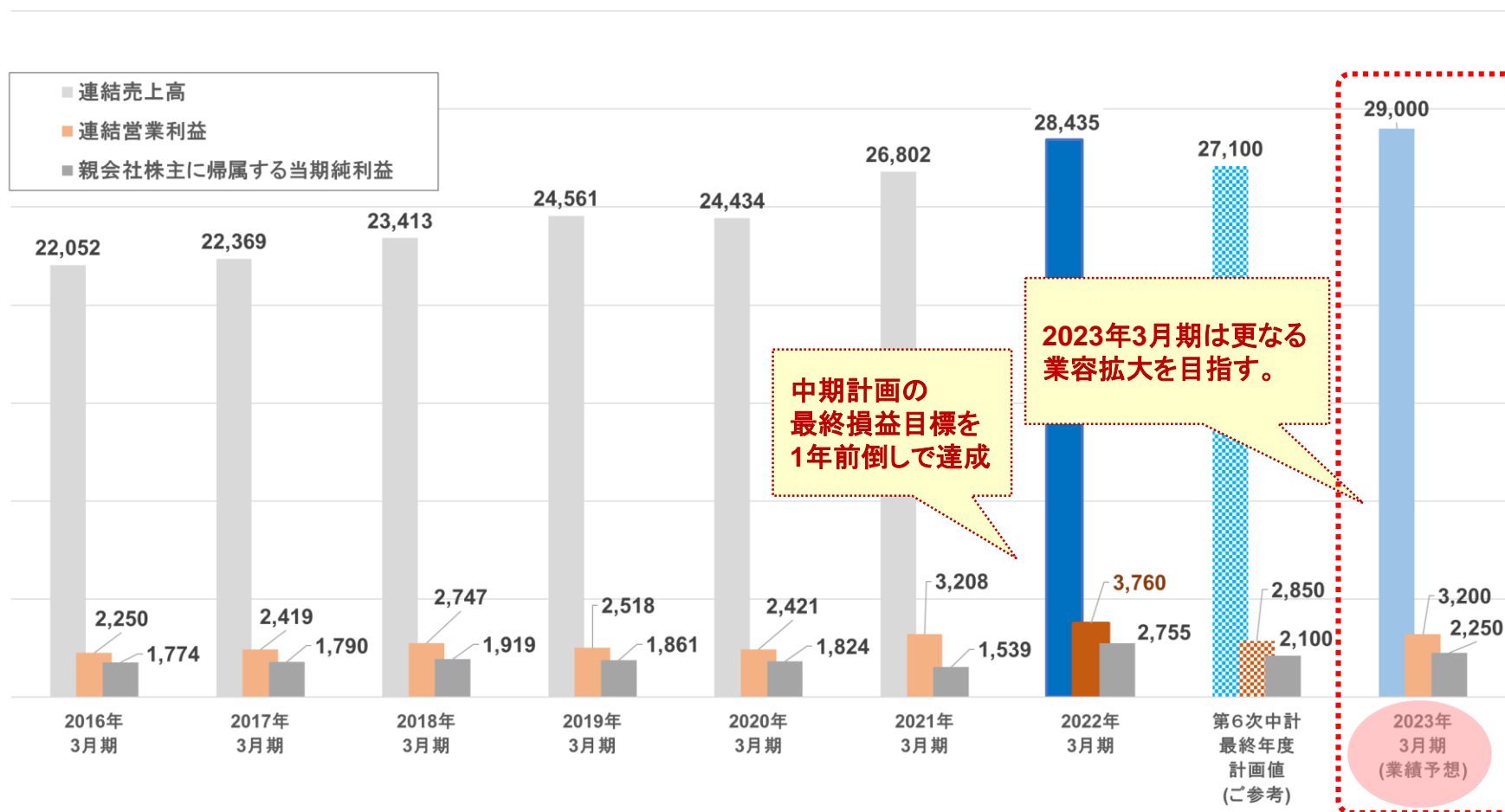
世界を変えるための17の目標



# V : 通期業績予想と配当予想

# 2023年3月期 通期業績予想

- コロナ禍で拡大した製品・サービスの需要定着に加え、中期計画で当初想定した施策を進める事で、中計最終年度となる2023年3月期業績予想は計画値を上回る。

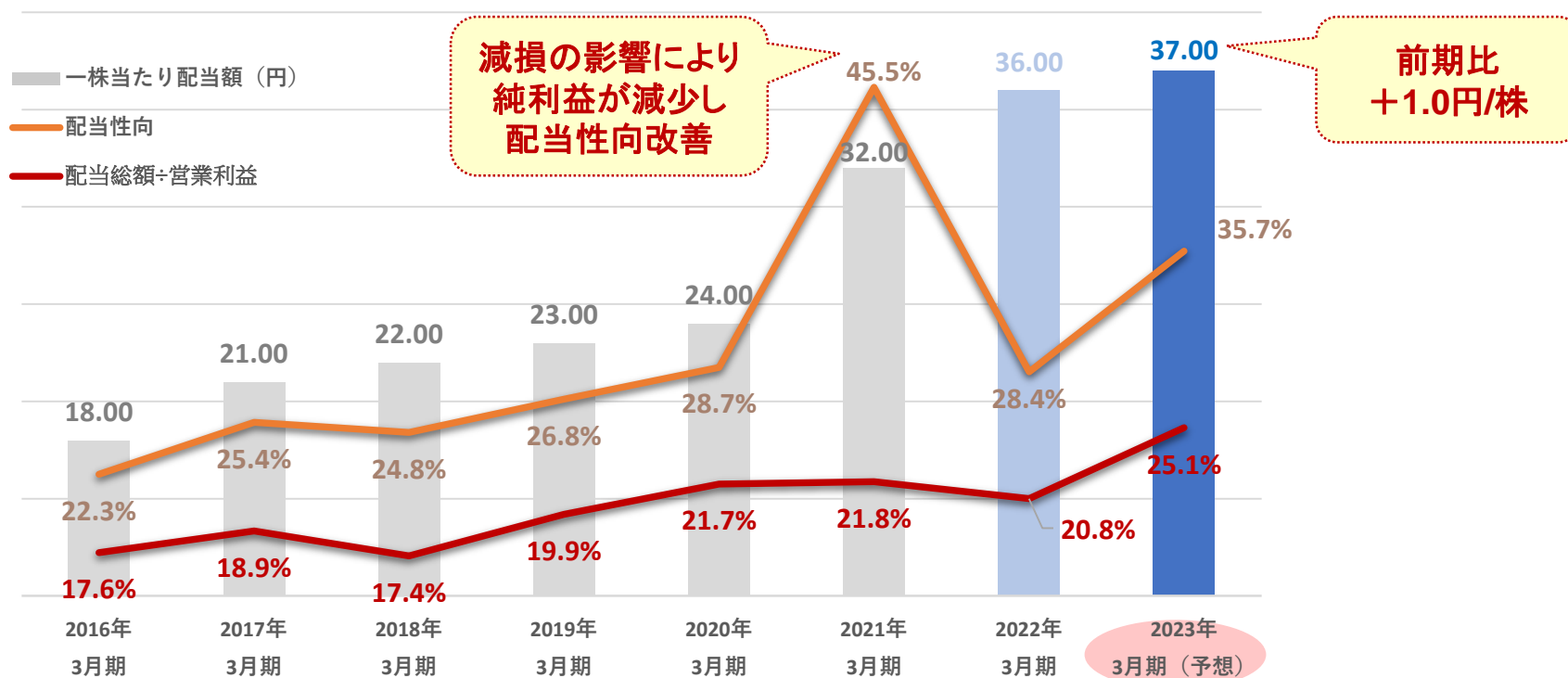


# 2023年3月期 通期配当予想(株主還元)



- 2022年3月期配当は、中間・期末共に18.0円/株の36.0円/株となる。併せて自己株買いを実施(14万株/176百万円取得)
- 2023年3月期配当は、中間・期末共に0.5円/株の増配実施により、通期で37.0円/株(前期比+1.0円/株)となる予定。

## 通期配当実績の推移と配当予想



# Appendix: 計数資料

# 要約連結貸借対照表(対前期末比較)



(単位:百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減額		2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
<b>流動資産</b>	27,950	29,330	+1,380	<b>流動負債</b>	4,229	4,643	+413
現金及び預金	19,170	20,197	+1,027	仕入債務	1,363	1,390	+26
売上債権	4,541	4,562	+20	未払法人税等	783	658	▲125
有価証券	601	300	▲301	未払金・未払費用	1,434	1,820	+385
棚卸資産	3,436	3,988	+551	その他 (長期借入金含む)	648	773	+125
その他	200	283	+82	<b>固定負債</b>	3,181	3,196	+14
<b>固定資産</b>	29,336	29,900	+564	<b>負債合計</b>	7,411	7,839	+427
有形固定資産	20,916	22,049	+1,133	<b>純資産</b>	49,874	51,391	+1,517
無形固定資産	797	639	▲157	株主資本	49,479	51,176	+1,696
投資その他の資産	7,622	7,210	▲411	その他包括利益累計額	395	215	▲179
<b>資産</b>	57,286	59,231	+1,944	<b>負債及び純資産</b>	57,286	59,231	+1,944

# 連結業績(損益:対前期比較)



(単位:百万円)

	2021年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	対前年比 増減額	対前年比 増減率
売上高	26,802	28,435	+ 1,632	+ 6.1%
売上総利益	9,963	10,946	+ 983	+ 9.9%
売上総利益率	37.2%	38.5%	+ 1.3pt	—
販売費及び一般管理費	6,754	7,186	+ 431	+ 6.4%
営業利益	3,208	3,760	+ 551	+ 17.2%
営業利益率	12.0%	13.2%	+ 1.2pt	—
経常利益	3,408	3,962	+ 554	+ 16.3%
税金等調整前当期純利益	2,171	3,956	+ 1,784	+ 82.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,539	2,755	+ 1,215	+ 78.9%



# 要約連結キャッシュフロー(対前期比較)



(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 3,215	+ 3,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,698	▲ 736
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 650	▲ 1,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	+ 0	+ 2
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	+ 867	+ 1,236
現金及び現金同等物の期首残高	17,782	18,649
現金及び現金同等物の期末残高	18,649	19,885

減価償却費	784	765
設備投資額(※)	605	1,332

(※)有形固定資産の取得による支出

# 連結経営指標ハイライト(対前年比較)



	2021年3月期	2022年3月期	増減
総資産(百万円)	57,286	59,231	+ 1,944
純資産(百万円)	49,874	51,391	+ 1,517
自己資本比率	87.1%	86.8%	▲ 0.3pt
ROA(経常利益÷総資産※)	5.9%	6.7%	+ 0.8pt
ROE(純利益÷純資産※)	3.1%	5.4%	+ 2.3pt
総資産回転率(売上高÷総資産※)	0.47	0.48	+ 0.01
1株当たり純利益(円)	70.44	126.38	+ 55.94

※ 各利益は2022年3月期末時点を使用しております。

※ 総資産・純資産の額は2022年3月期末時点を使用しております。

# ファインケミカル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)	2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	13,704	14,103	+ 399	+ 2.9%
一般用製品:ボディケア	2,029	2,117	+ 87	+ 4.3%
一般用製品:ガラスケア	3,693	3,969	+ 276	+ 7.5%
一般用製品:リペアグッズ	2,537	2,466	▲ 71	▲ 2.8%
業務用製品	1,788	1,850	+ 62	+ 3.5%
家庭用品等	1,420	1,360	▲ 59	▲ 4.2%
海外事業	1,418	1,575	+ 157	+ 11.1%
TPMS(タイヤ空気圧監視装置)	186	217	+ 31	+ 16.9%
電子機器・ソフトウェア開発	589	570	▲ 19	▲ 3.3%
その他・調整	40	▲24	▲ 64	▲159.2%
売上総利益	6,518	6,674	+ 156	+ 2.4%
粗利益率	47.6%	47.3%	▲ 0.2pt	—
営業利益	2,235	2,211	▲ 23	▲ 1.1%
営業利益率	16.3%	15.7%	▲ 0.6pt	—

# ポーラスマテリアル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)		2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		6,287	7,655	+ 1,367	+ 21.8%
	産業資材	4,778	6,008	+ 1,230	+ 25.7%
	国内	2,355	3,046	+ 691	+ 29.3%
	海外	2,423	2,961	+ 539	+ 22.2%
	生活資材	1,508	1,647	+ 139	+ 9.2%
	国内	921	889	▲ 32	▲ 3.5%
	海外	587	758	+ 171	+ 29.2%
売上総利益		2,002	2,668	+ 666	+ 33.3%
	粗利益率	31.8%	34.9%	+ 3.1pt	—
営業利益		714	1,105	+ 390	+ 54.7%
	営業利益率	11.4%	14.4%	+ 3.0pt	—

# サービス(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		5,594	5,428	▲ 165	▲ 3.0%
	自動車整備・钣金事業	2,257	2,384	+ 127	+ 5.6%
	自動車教習所	942	1,029	+ 86	+ 9.2%
	生活用品企画販売	2,394	2,015	▲ 379	▲ 15.8%
売上総利益		1,281	1,331	+ 49	+ 3.9%
	粗利益率	22.9%	24.5%	+1.6pt	—
営業利益		136	200	+ 64	+ 47.0%
	営業利益率	2.4%	3.7%	+ 1.3pt	—

# 不動産関連(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2021年3月期	2022年3月期	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		1,216	1,247	+ 31	+ 2.6%
	不動産賃貸	403	428	+ 24	+ 6.1%
	温浴事業	770	780	+ 9	+ 1.3%
	介護予防支援事業	42	38	▲ 3	▲ 8.1%
売上総利益		162	271	+ 109	+ 67.3%
	粗利益率	13.4%	21.8%	+ 8.4pt	—
営業利益		113	233	+ 120	+ 106.4%
	営業利益率	9.3%	18.7%	+ 9.4pt	—

# セグメント情報(セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位:百万円)

売上高	2021年3月期	全体構成比率	2022年3月期	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	13,704	51.1%	14,103	49.6%	▲1.5pt
ポーラスマテリアル	6,287	23.5%	7,655	26.9%	+ 3.4pt
サービス・不動産関連	6,811	25.4%	6,676	23.5%	▲1.9pt
合計	26,802	100.0%	28,435	100.0%	—

営業利益	2021年3月期	全体構成比率	2022年3月期	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	2,235	69.8%	2,211	59.0%	▲ 10.8pt
ポーラスマテリアル	714	22.3%	1,105	29.5%	+ 7.2pt
サービス・不動産関連	249	7.9%	433	11.5%	+ 3.6pt
(※)合計	3,208	100.0%	3,760	100.0%	—

(※)合計には連結調整額を含む。

# SEEK OUT INNOVATION

～ 未来の“あたりまえ”を発見する～

